

令和4年度 学校関係者評価報告書

□基本方針

企業委員、卒業生委員、地域住民委員により、自己評価結果の項目について評価を行う。次年度に向けた重点目標を設定し、全職員にて共通の認識をもち、副校長を中心に改善策を検討し、年度ごと改善に向け取り組んでいく。

□実施について

令和元年度の学校評価委員会を開催し、直近の自己評価報告をもとに、学校関係者による評価を以下の通り実施した。

実施日 令和4年8月8日（月）
実施場所 リモート、個別にて実施
参加者 企業委員2名
卒業生委員1名
地域住民委員1名
学内委員1名 渡邊基矢（進行、まとめ）

□評価について

項目	評価、評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none">・学校理念・目標については概ね適切に定められている。・特色は明確でわかりやすい。・特に問題はない
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none">・特に問題は感じない。・SDGsも意識して、DXも積極的に推進されてはどうか。・授業のリモート化もさらに取り入れてはどうか。・学生を管理する教育システムの導入の検討をされてはどうか。
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none">・可能であれば、外部研修も取り入れてはどうか。・Eラーニングを活用して、資格取得を進めてはどうか。・インターンシップは本人のためになるので、積極的に参加できるとよい。・愛知県はAWSの案件がとても多く、今後もさらに増える見込みがあるので、学べる機会があるとよい。・インフラ、ミドルウェアの知識が必要とされる案件が多く、さらなる学習ができるとうい。
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none">・就職率、資格取得数は悪くない。継続されるよう続けてほしい。・情報処理技術者試験における高度区分の合格者がさらに増えるよう支援してほしい。・コロナ禍での制限がなければ、課外活動にて学習できるとよい。・難しいとは思いますが、退学者がさらに少なくなる環境ができるとよい。

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学生だからこそ行える課外活動があるとよい。 ・課外活動がコロナなど感染症の観点からできないのでは、仕方がない。 ・担任が支援の窓口となっているのはよい。ただ、限界もあるので、難しい点はあると感じる。 ・学校だけでなく、社会全体での学生の支援ができる環境があるとよい。
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね適切である。 ・問題はない。 ・設備は整っている。今後もうまく活用してほしい。 ・PCを十分に導入されている点は、設備面で非常によい。特にメモリが16Gバイトあると作業環境が劇的に改善することがあるので、費用対効果を考えたときメモリの増設を勧めたい。 ・海外研修が実施できないのは、現状仕方がないと思う。
(7) 学生の受け入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に行われている。 ・定員を極端に割っていないようであれば、問題ない。継続して募集活動をしていくとよい。 ・学納金は妥当である。可能であれば、奨学生を増やすことができるとよい。
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題はない。 ・学園全体での適切な運営ができるとよい。
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題はない。 ・真面目に取り組まれていると感じている。 ・引き続き法令遵守のもと、運営を継続してほしい。
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね適切である。 ・地域と連動した制作活動ができるようにあるとよい。 ・学生の資格取得にて、地域メディアにも取り上げられており、そういった取り組みは立派な地域貢献といえる。 ・各種試験の一般会場となっていることは、立派な地域貢献である。地域の受験者からすれば遠方へ出向く必要がなくなる。
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・問題は感じない。 ・現状、無理をして留学生を受け入れるべきではない。

□総評

- ・学校として問題は感じない。
- ・概ね、このままでよく、適切な学校運営を続けてほしい。
- ・様々な学生を受け入れられる環境を今後も継続してほしい。
- ・新しい分野にもチャレンジできる環境があるとよい。